

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県宗像市離島 航路確保維持協議 会	宗像市	地島～神湊	観光担当部署と連携し、旅行会社に対 するPRなど、釣り客以外の一般の観 光客の増加を図った。	A	B	大島を訪れる観光客に対して地島の観光PR を行う必要がある。観光担当部署と連携し、 利用者の増加を図る。	離島航路を維持していること自体評価でき る。 ただ、宗像市運営の2航路については、本土 側の寄港地が同一であり、また、大島には 世界遺産の構成施設があることから、航路 利用も増大している状況。大島を訪れる観 光客などを如何にして大島から地島へ誘導 するかなどについて、是非、地域全体で検討 を進めて行くことを期待します。 なお、その際には、航路のあり方についても 検証いただきたいと思います。	
福岡県宗像市離島 航路確保維持協議 会	宗像市	大島～神湊～地島	大島を訪れる観光客が増加しているた め、観光担当部署と連携し、神湊港 ターミナルに地島の観光案内チラシや ポスターを設置し、利用者の増加を 図った。	A	A	旅行会社のツアー等の増加に伴い臨時便を 運航する回数が増加しているため、観光担 当部署と旅行会社と連絡を取り、効率的な運 航管理を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県新宮町離島 確保維持協議会	新宮町	相島～新宮	島民による島おこしイベントのほか、史跡関係のイベントなど、観光面を含めサポートを行い観光客を含め利用客の増に務めた。 また、荒天時に波の衝撃による音や振動に対する改修実施に向け、設計者と船員で協議を重ね、改修案をまとめた。	A	A	今後も、島でのイベント等が開催される際には、サポートを行い利用客の増に務める。 燃費については、大幅な改善は見込めないが、更に対策を検討していく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 現在、猫の島として注目を浴びており、観光面のサポートを積極的に取り組んでおり、併せて受入環境整備を行っており、地域と航路が一体となって航路改善に取り組んでいることは評価できる。 今後は、島民利用の増加についても積極的に取り組んで頂くことを期待します。	
福岡県福岡市離島 航路確保維持協議会	福岡県福岡市	玄界島～博多	島民以外の利用者にも渡船の利用を促すため情報発信を行っていく。	A	B	島民以外の利用者にも、渡船の更なる利用を促すため、情報発信等により利用者の増加に努めていく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 ただ、島民以外の利用者に対する情報発信を行っていくこととしているが、どのような情報を発信していくのか、また、どのような情報が島外利用者が必要としているのかなど、関係部署と連携して取り組むことを期待します。 また、当該利用者だけに目を向けるのではなく、島民の利用促進策についても検証し、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	
福岡県福岡市離島航路確保維持協議会	福岡県福岡市	小呂島～姪浜	島民以外の利用者にも渡船の利用を促すため情報発信を行っていく。	A	B	島民以外の利用者にも、渡船の更なる利用を促すため、情報発信等により利用者の増加に努めていく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 ただ、島民以外の利用者に対する情報発信を行っていくこととしているが、どのような情報を発信していくのか、また、どのような情報が島外利用者が必要としているのかなど、関係部署と連携して取り組むことを期待します。 また、当該利用者だけに目を向けるのではなく、島民の利用促進策についても検証し、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。
福岡県糸島市離島航路確保維持協議会	糸島市	姫島～岐志	平成25年度に策定した糸島市航路改善計画に基づき、利用者の増進及び利便性向上に努めている。 市観光部門が作成した「ひめしまマップ」を活用して島の魅力をアピールし、観光客等の増進に努めた。	A	B	今後は、島内整備など島民や漁協、市役所関係各課との協議を重ねて魅力ある島づくりに取り組み、観光パンフレット「ひめしまマップ」を活用し、福岡都市圏から1時間ほどで自然が満喫できる島の魅力をアピールし、観光客や団体利用客の再利用・新規利用誘致などで利用者の増進を図る。 エンジンメーカーのアドバイス等を受け最適なエンジン出力等の調整により燃料消費量の削減に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 また、福岡市都市圏に近いという地の利を活かし、関係部署と連携して観光客等の誘致に力を入れており評価できる。 今後は、島内の受入環境整備などを地域で進めていくことを期待します。 併せて、島民の利用促進策についても地域で検討を進めて頂きたいと考えます。

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路確保維持協議会	(有)郵正丸	馬渡島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図る。 引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 佐賀県や唐津市が7つの離島(全て唐津市)に関する情報発信や7つの島物産店を開催するなど積極的に展開している。また、島々間の交流など地域が一体となった魅力向上に取り組んでいることは評価できる。 イベントだけではなく、それぞれの島での魅力を再確認し、島外からの観光客誘致に期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	(有)加唐島汽船	加唐島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少していることから、島民利用の増加は望めないものの、各種イベント事業との連携により、観光客等の利用者の確保を図る。 引き続きコスト削減を図りつつ、計画運航回数の確保を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 佐賀県や唐津市が7つの離島(全て唐津市)に関する情報発信や7つの島物産店を開催するなど積極的に展開している。また、島々間の交流など地域が一体となった魅力向上に取り組んでいることは評価できる。 イベントだけではなく、それぞれの島での魅力を再確認し、島外からの観光客誘致に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路確保維持協議会	川口汽船㈱	小川島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図り、計画運航回数の確保に努める。また、共通予備船の利用回数を増やすことで燃料消費量の削減を図るとともに、安定的な航路運営に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 佐賀県や唐津市が7つの離島(全て唐津市)に関する情報発信や7つの島物産店を開催するなど積極的に展開している。また、島々間の交流など地域が一体となった魅力向上に取り組んでいることは評価できる。 イベントだけではなく、それぞれの島での魅力を再確認し、島外からの観光客誘致に期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	唐津汽船㈱	神集島～湊	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図る。 引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 佐賀県や唐津市が7つの離島(全て唐津市)に関する情報発信や7つの島物産店を開催するなど積極的に展開している。また、島々間の交流など地域が一体となった魅力向上に取り組んでいることは評価できる。 イベントだけではなく、それぞれの島での魅力を再確認し、島外からの観光客誘致に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	九州郵船株	博多～比田勝	島内の情報を収集。旅客、車両の増加に努めた。	A	A	旅客、車両共、過疎化、水産業の不振等で多くの利用増は見込めないが、旅客グループ、定期トラックの利用増を引き続き働きかけていく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 昨年4月から国境離島運賃割引が実施されており、島民の利用を促す取り組みを進めるとともに、具体的に貨物集荷をどのようにすれば、利用に繋がっていくのか検証して実施することを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	崎戸商船株	友住～佐世保	離島航路改善計画実施の為の情報収集に努め、実施時期の検討を行なった。又、費用の削減に努める。	A	B	長崎県離島航路対策協議会「友住～佐世保航路分科会」において策定された離島航路改善計画実現の為、自治体、造船所等と協議を行なっていく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 昨年4月からの国境離島運賃割引の活用や本年夏に世界文化遺産登録が見込まれている頭ヶ島教会に最も近い航路であることから、入港後の陸上交通との連携など面的に対応するなど、旅行者の利便性向上に取り組むことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	九州商船株	佐世保～上五島	他社の参入により「佐世保～上五島航路分科会」でまとめられた航路改善計画を反映させることはできていないが、安全運航のために日頃から船舶の点検等を行うなどして航路の確保維持に努めた。	A	A	長崎県離島航路対策協議会「佐世保～上五島航路分科会」でまとめられた航路改善計画を平成30年度から一部実施していく予定であるが、他社の参入により完全な実現ができていないため、航路の状況を勘案しつつ少しでも早い段階で航路の改善が実施できるよう努めたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 現在、航路改善計画の沿って新船建造をすすめているところ。今後、本年夏に世界文化遺産登録が見込まれている教会をはじめ中通島には多くの教会が点在していることから、情報発信やツアー造成などに取り組み、島外からの観光客誘致に関係者と連携して取り組んでいただくことを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	野母商船株	福江～博多	利用者へ船内でアンケート調査を実施しニーズに応えられるように努力している。日頃から船舶等の点検・整備を確実にを行い、安心・安全な運航サービスが維持されるように努めている。	A	A	①経費面では、博多～宇久港間の下り便において減速運航を継続して行うことで燃料費削減に努め、その他経費においても削減に努める。 ②収入面では、積極的な営業活動を行い増収に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 航路上の海域により減速運航を実施するなど経費節減に努めていることは評価できる。大都市を夜出港し朝離島に到着するため、他の航路とは違う特色を持っており、その特色も航路の魅力と捉え、情報発信に努めていただくことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	五島旅客船㈱	郷ノ首～福江	本年度は、使用船舶の老朽化により、船舶修繕費が多額となると予想されたが、日常メンテナンスを計画的に実施すると共に、ドック時に於いて検査工事等を造船所に全て任せることなく、船員自ら整備を行うことにより削減に努めた。 雇用船員の退職等に伴う補充については、若年船員の採用に努める。	A	A	地域公共活性化再生協議会並びに長崎県離島航路対策協議会に設置されている地域分科会等を通じて、本土～離島間及び島内交通機関との接続を密にして地元住民の足としてより良い運航形態を目指すことにより、公共交通機関としてのサービス維持すると共に、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を登録に向けた取組を推進することにより、交流人口の増加に寄与したい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 本航路は、五島列島を縦断するかたちで運航となっており、昨年4月からの国境離島運賃割引の活用により島民の利用促進を行っていることは評価できる。 また、五島列島では、本年夏に世界文化遺産登録が見込まれていることから、それらの構成資産へのスムーズな移動が可能となるよう、他航路や陸上交通との連携により、面的利便性についての対応を期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	佐世保市(宇久)	神浦～寺島～柳	過去の実績を鑑み目標値を現実的なものにしたうえで、運航率の安定を図った。	A	A	国境離島島民割引による利用増や、風力発電やメガソーラー等寺島に関連する事業の進捗により、本航路の利用者数改善が見込まれる。	離島航路を維持していること自体評価できる。 昨年4月から実施されている国境離島運賃割引を活用して、島民の利用促進を行い、輸送人員が昨年度から増加していることは評価できる。 今後も島民の利用促進策を継続することを期待します。 また、計画していた船舶修繕費を上回ったこともあり、日常の整備点検に努めて頂きたいと考えます。	



**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	津吉商船株	津吉～相浦～佐世保	<p>・平戸南部地区の過疎化に伴う人口の自然減を補うため、イギリスからの「将軍ツアー」と、平戸商工会議所主導による南部地区町おこしの一環として「南部地区活性化委員会」にも積極的に参加し観光誘致に努め、各種イベント等に関しても、当社も出来る限りPRを行い、平戸島外からの入込み客を増やすことにより運賃増収に努めた。</p>	A	A	<p>・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。          ・佐世保コンベンション協会に働きかけ佐世保地区へのPR化を図り、広域観光ルートの構築に取り組む。          ・イギリスからの「将軍ツアー」と、平戸商工会議所主導による「南部地区活性化委員会」にも積極的に参加し観光誘致に努め、各種イベントに関しても、出来る限りPRを行い、運賃の増収に努める。          ・船舶修繕費については、船員で整備修繕を行い、経費削減に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。          「将軍ツアー」や「南部地区活性化委員会」など、地域と連携した観光客誘致を積極的に進めていることは評価できる。          今後は、観光客以外にも、島民の利用促進策についても検証を行い、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。</p>	
長崎県離島航路対策協議会	西海沿岸商船株	佐世保～神浦	<p>長崎市及び島民との協議を行い、観光客の受け入れ体制、ダイヤについて協議を行っている。</p>	A	B	<p>西海市及び長崎市(池島)と連携し航路利用客の増加に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。          補助対象区間は限定されているものの、当該区間において旅客運賃、自動車航送運賃が増加していることは評価できる。          今後は、利用促進策を継続して行うとともに、海難修理があったことから、安全運航の徹底を行うことを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日  
九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	平戸市	大島～平戸	燃料費の安価な購入のため毎月単価見積入札を実施した。離島住民割引を実施し、島民の利便確保、負担軽減を図った。	A	A	燃料単価は昨年度に比較して上昇しており、主機回転数の抑制や毎月の単価見積入札を継続し経費削減に努める。また、ドック等において、塗装、小修理等可能な限り船員で行い経費節減に努める。さらに、安定的な運航を図るため、船員の確保に努めていきたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。島内の環境変化により車両の慢性的な積み残しが発生していることから、車両航送運賃収入が増加しているものの、車輛の積み残し問題の解決のため、現在「航路改善計画」に沿って新船導入を進めていることから着実に実施することを期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	対馬市	仁位～長板浦	極めて利用旅客数が少ない寄港地の住民説明会を開催し、平成29年4月から貝口港を廃止した。また同月から土曜日往復路の寄港地数を減らし(佐志賀・嵯峨・貝瀬)、運航経費削減を行い収益性を上げるようにした。	A	A	航路改善計画に基づき利用客が極めて少ない寄港地については、減便、廃止などを検討し、燃料経費等の削減を目指すとともに、利用しやすい運航時間や利用内容の分析・把握に努め、効率的な運航方法を検討していきたい。また、不定期航路についても、浅茅湾の魅力を島内外にPRするとともに、イベント時の活用や旅行ツアーでの利用など積極的に働きかけたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。利用者の少ない貝口港の寄港廃止など住民との合意を得ながら、経費削減策を進めていることは評価できる。今後も地域住民と協議を行い、需要に応じた、きめ細やかな運航計画によって当該航路の経営改善を図っていくことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	長崎汽船㈱	長崎～伊王島～高島	①他社からの備船収入の増加 ②H29年6月19日より新船「鷹巣」を就航、ダイヤを1便減便し、就航後、船舶修繕費、燃料費等の削減に努力している。	A	A	・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 ・平成26年度に航路運営に係る調査事業を実施し、策定した「航路改善計画」をもとに、総トン数124トン「鷹巣」の建造を行った。平成29年6月19日より「鷹巣」が就航し、ダイヤを現行の9便から8便に1便減便、船舶修繕費、燃料費の削減等を目標に経営改善を目指す。	離島航路を維持していること自体評価できる。 平成29年6月より新船「鷹巣」の就航など、航路改善計画の沿って航路改善をすすめているところ。今後、航路改善計画に協議継続中となっている寄港地の変更など、今後、関係者と協議を進め、適切に判断いただき費用削減に努めていただきたい。 また、釣客や海水浴客等に対する積極的な情報発信を継続して行うことも期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	鷹島汽船㈱	阿翁～御厨	平成28年4月6日に全区間に離島住民運賃割引を導入した。少子高齢化の進行及び雇用の場が無く、若年者の島外流失により、利用者は年々減少傾向で歯止めがかからない状況であるが、交流人口の拡大、観光客の誘致のために「まつうら交流公社」と協力して、青島への体験型修学旅行生の受け入れに努めている。	A	A	平成27年度に松浦市地域公共交通活性化協議会「殿ノ浦～今福航路対策分科会」において、阿翁～御厨航路に飛島を寄港地として追加する「航路改善計画」を作成した。それに伴い寄港地である飛島に週1回(基本水曜日)本航路の「フェリーたかしま2」を運航して、屎尿運搬車・ゴミ収集車・プロパンガス運搬車・燃料運搬のタンクローリー車等の車両輸送を行っている。	離島航路を維持していること自体評価できる。 「まつうら交流公社」や「まつうら観光物産協会」等地域と連携して体験型旅行生の団体受入など観光客誘致を積極的に進めていることは評価できる。 今後も地域と連携して観光客誘致を継続するとともに、地域全体で航路を維持していく意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	鷹島汽船㈱	殿ノ浦～今福	<p>少子高齢化の進行及び雇用の場が無く、若年者の島外流出により、利用者は年々減少傾向で歯止めがかからない状況であるが、交流人口の拡大、観光客の誘致のために「まつら交流公社」及び「まつら観光物産協会」と協力して、鷹島への体験型修学旅行生の受入れに努めております。寄港地である飛島へ島外の釣り客利用者の増加を図っている。</p>	A	B	<p>平成26年度の「航路改善計画」に基づき、今後は長期的視点にたった持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図る事とする。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 「まつら交流公社」や「まつら観光物産協会」等地域と連携して体験型旅行生の団体受入など観光客誘致を積極的に進めていることは評価できる。 今後も地域と連携して観光客誘致を継続するとともに、地域全体で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。</p>	
長崎県離島航路対 策協議会	壱岐市	大島～郷ノ浦	<p>観光客の拡大、校外学習によるフェリーの利用等、収入の増加、確保を図った。 経費については、消耗品の節減、及びこれまで行ってきた燃料潤滑油費の毎月単価入札の実施、修繕費については、定期検査における指名競争入札の実施、船員による日頃からの船舶保守点検を徹底し経費節減に努めた。</p>	A	B	<p>人口減少・少子高齢化等により、運航収益の減少が危惧されるが、引き続き島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口拡大を図り収入の増加・確保に努める。 また、経費についても、燃料潤滑油費について毎月単価入札を実施、中間検査の指名競争入札実施、消耗品費、修繕費等の経費節減を図り、本航路の実情にあった経営改善を継続的に図っていく。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口拡大に努め、運航収入が増加していることは評価できる。 今後も人口は減少傾向が予想される一方、当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	黒島旅客船(有)	黒島～高島～相浦	積み残し車両等が有る事と黒島天主堂の世界遺産登録に向けた動向があることを踏まえた運営を行う。	A	A	平成30年黒島天主堂の世界遺産登録に向けた動向に伴い、行政や観光業界と連携を密に取りながら収入の増加に努める。また船員確保や事務作業の効率化を図り、安定した航路運営に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 黒島天主堂は、本年夏に世界文化遺産登録が見込まれていることから、情報発信やツアー造成などに取り組み、島外からの観光客誘致に関係者と連携して取り組んでいただくことを期待します。 今後は、島民利用の増加についても積極的に取り組んで頂くことを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	五島市(奈留)	奈留島～前島	五島市地域公共交通再編実施計画に基づき、海上タクシーを使ったデマンド運航に転換した。	A	A	デマンド運航の定着及び利便性の向上を図り、離島航路の維持専属に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 五島市地域公共交通網形成計画に基づき、他航路や陸上交通との連携により、面的利便性についての再編実施を進めていることは評価できます。 今後も五島市地域経交通活性化協議会と協働し再編実施を着実に実施していくことを期待します。 また、デマンド運航の利便性の向上や定着など住民と一体となった取組みも継続していくことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	㈲木口汽船	久賀～福江～杵島	前回の事業評価結果を参考として更に改善できる点はないか検討した。費用面では、点検を十分に行い細かい箇所の修理や塗装等船員で行う事とした。収入面では、観光客誘致についてパンフレット送付やホームページで予約状況を案内する等これまで以上にPRに努めた。	A	A	久賀島、杵島とも国境離島新法の運賃低廉化の効果は大きく、旅客収入増への貢献が期待される。また、久賀島では「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の登録が平成30年7月に実現すれば旅客増に繋がる。今後は、行政や観光協会等による航路情報や島情報の発信をお願いしていきたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 久賀島は、本年夏に世界文化遺産登録が見込まれていることから、行政等と連携した効果的な情報発信などに取り組み、島外からの観光客誘致に繋げていただくことを期待します。 また、今後も島民の利用促進策を継続していただくことを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	㈲黄島海運	黄島～福江	日頃から費用削減に努め、安定的な航路運営を図った。燃料費の安価購入のため毎月単価購入契約を実施している。	A	A	離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、利用者目線で事業運営に努めたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 昨年4月から実施されている国境離島運賃割引の活用して、島民の利用促進を行い、旅客運賃収入が増加していることは評価できる。 今後も島民の利用促進策を継続していただくことを期待します。	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	五島市(富江)	富江～黒島	病院等の利用が多く見込まれる火曜日(1日1往復)以外については、事前予約による海上タクシーを利用したデマンド運航とすることが承認された。	A	A	・海上タクシーによるデマンド運航を継続していく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 五島市地域公共交通網形成計画に基づき、他航路や陸上交通との連携により、面的利便性についての再編実施を進めていることは評価できます。 今後も五島市地域経交通活性化協議会と協働し再編実施を着実に実施していくことを期待します。 また、デマンド運航の利便性の向上や定着など住民と一体となった取組みも継続していくことを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	竹山運輸(有)	度島～平戸	飛島航路のフェリー廃止に伴い2隻の船利用により用船料の増に努めました。	A	A	慢性的な人員不足を解消する為に国・県事業者において従業員給料の質上げの協議していきたい。 地元ネットワークに積極的に参加し住みやすい度島づくりに努める。 費用については複数社の見積もりを徹底し経費削減に努める。	離島航路を維持していること自体評価できる。 運賃収入は減少しているものの、共通予備船としている船舶を他航路へ貸し出すことにより、他の航路の公共交通を確保していることは評価できる。 また、船舶修繕費についても日頃から積極的に船員による船舶修繕に取り組んだことにより、計画よりも船舶修繕費削減出来ていることも評価できる。 今後も継続して費用削減に取り組むことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	小値賀町	笛吹～大島・野崎	・町の観光窓口である「おぢかアイランドツーリズム協会」と連絡を密にし、修学旅行生や民泊利用者の利用促進、野崎島来訪を中心とした観光客の利用など、町営船の利用への対策を行った。	A	A	離島航路構造改革補助事業で立ち上げた航路対策協議会分科会の中で、効率的な運航や増収策など、意見を聞きながら取り組んでいく。	離島航路を維持していること自体評価できる。 「おぢかアイランドツーリズム協会」と連絡を密にし、修学旅行生や民泊利用者の利用促進によって運航収入が増加していることは評価できる。 野崎島は、本年夏に世界文化遺産登録が見込まれていることから、行政等と連携した効果的な情報発信や運航計画の変更などに取り組み、島外からの観光客誘致に取り組んでいただくことを期待します。	
長崎県離島航路対策協議会	小値賀町	柳～納島	島の特産品である落花生収穫体験の研修等、団体客の利用	A	B	今後も、観光事業と連携した取り組みを行い、利用客増加を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。 昨年4月から実施されている国境離島運賃割引を活用して、島民の利用促進に取り組んでいることは評価できる。 今後も人口は減少傾向が予想される一方、当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。	



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	嵯峨島旅客船(有)	嵯峨島～貝津	費用を抑えるためできるだけできることは船員で行い、収入では島のPRに努めた。	A	B	島の人口は減少傾向なので、島民以外の利用者促進に努力していきたい。	離島航路を維持していること自体評価できる。 昨年4月から実施されている国境離島運賃割引を活用して、島民の利用促進に取り組んでいることは評価できる。 嵯峨野島の人口は昨年比2%減と減少傾向にある一方、当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んでいくことを期待します。	
姫島～国見航路運営協議会	姫島村	姫島～国見	○前回評価結果 「今後の利用促進策として島側の対応だけでなく、本土側の定住政策等とも絡めて検討することが望ましい」 一県と村が連携してIT企業2社を村に誘致し、経済や雇用、定住などに寄与している。 また、移住希望者向けの移住体験ツアーやセミナーを行うなど移住・定住の促進に取り組んでおり、島、本土の両側の自治体で、移住者が増加傾向となっている。 協議会委員には、村の企画振興課長や商工会会長、区長会会長を任命しており、協力して移住や利用促進等の取組を行っている。	A	A	○日本ジオパークに認定されたことを契機に関係機関とさらに連携し、アンテナショップなどの観光イベントの活用を充実強化することにより、県内外からの観光客誘致を進めて交流人口の増大を図る。 ○船舶については常時点検を行い、大規模な修繕の発生を回避する。	離島航路を維持していること自体評価できる。 日本ジオパークに認定されたことに伴うジオツーリズムなどの誘致活動やアンテナショップの設置、また移住希望者向けの移住体験ツアーやセミナーを行うなどの移住・定住の促進などにより、運航収入が増加していることは評価できる。 今後も行政等と連携した効果的な情報発信や利用促進などの取り組みや、陸上交通との連携した面的に対応など、住民や旅行者の利便性向上に取り組むことを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
大島～佐伯航路運 営協議会	佐伯市	大島～佐伯	<p>○前回評価結果 「今後の利用促進策として島側の対応だけでなく、本土側の定住政策等とも絡めて検討することが望ましい」 一県と市が連携して、移住希望者向けのセミナーを行ったほか、ホームページによる情報発信など移住・定住の促進に取り組んでおり、市の移住者が増加傾向となっている。 協議会委員には、市の地域振興部長や佐伯市あまべ商工会会長、大島地区自治会長を任命しており、協力して移住や利用促進等の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○関係機関と連携して情報発信を行い、需要を喚起するとともに、活性化方策として島内イベントの開催等を検討する。 ○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避し修繕費の削減を図る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 旅客運賃収入が、昨年度比で9.1%減少しています。 今後も人口は減少傾向が予想される一方、当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、行政や事業者、住民が一体となって協議会として、具体的な利用促進策を計画・実行するするとともに、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。</p>	
蒲江～深島航路運 営協議会	蒲江交通(有)	蒲江～深島	<p>○前回評価結果 「今後の利用促進策として島側の対応だけでなく、本土側の定住政策等とも絡めて検討することが望ましい」 一県と市が連携して、移住希望者向けのセミナーを行ったほか、ホームページによる情報発信など移住・定住の促進に取り組んでおり、市の移住者が増加傾向となっている。 協議会委員には、市の地域振興部長や佐伯市あまべ商工会会長、大島地区自治会長を任命しており、協力して利用促進等の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○島民利用の増加は望めないことから、観光関係部署と連携を図りながらホームページ等で情報発信を行い、来訪客の増加を図る。 ○更なる経費節減に努め、欠損額の抑制を図る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 ホームページ等による情報発信などにより、増加した観光客等に対し、夏季増便等を行い、運航収入が増加していることは評価できる。 今後も行政や地域住民と連携した効果的な情報発信を定期的に行うことなど旅行者の利用促進を引き続き取り組むことを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
津久見～保戸島航路運営協議会	南やま丸	津久見～保戸島	<p>○前回評価結果 「今後の利用促進策として島側の対応だけでなく、本土側の定住政策等とも絡めて検討することが望ましい」 一県と市が連携して移住希望者向けの移住体験ツアーやセミナーを行うなど移住・定住の促進に取り組んでいる。 協議会委員には、市の政策企画課長や津久見市商工会議所会頭、保戸島区長会会長を任命しており、協力して移住や利用促進等の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○観光部署と連携して観光ツアーの取組を強化し、来訪者の利用拡大を図る。 ○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避し修繕費の削減を図る。 ○細かな節減に努め経費の圧縮を図る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 船員による船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避し安定的な運航に努め、修繕を減らすことにより船舶修繕費を抑制していることは評価できる。 今後も人口は減少傾向が予想される一方、当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。</p>	
延岡市離島航路確保維持改善協議会	日豊汽船株	島浦～浦城	<p>観光協会や地元団体と連携しながら事業に取り組むなど、交流人口の増加に向けた取組を図った。</p>	A	A	<p>島内の高齢化が進み人口減少が進んでおり、島民の利用増加は見込めない状況であるが、老朽化した本社事務所建替えに伴い利用者や観光客の利便性を考慮した待合スペース等の改修、島外客向けの駐車場の確保、観光メニューの開発などに観光関係団体と連携して取り組み、島外からの利用客増加を図る。 航路維持のためには、船員等の確保が必要不可欠であることから、市内小中学校と連携して旅客船で職場体験等を実施し、船員という職業への認知度の向上に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。 公共事業減少に伴い運航収入が減少しているが、公共事業だけに依存しない航路経営を目指し、利用促進策を具体的に計画し、行政や事業者、住民と一体となって実施することを期待します。 また、自己評価の「今後の改善点」である「市内小中学校と連携して旅客船で職場体験等を実施し、船員という職業への認知度の向上に努める。」ことは是非とも実施していただきたいと考えます。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日  
九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
串木野・川内～甌島 航路対策協議会	甌島商船株式会社 串木野・川内～甌島 航路	串木野・川内～甌島 航路の運航	<p>・甌島への入込観光客の誘客促進を図るため、旅行代理店向けの旅行商品割引やJR九州との連携した連絡きっぷ、高速船周遊割引、また高速船の停泊時間を活用した貸切チャーター便の運航を実施し、甌島への入込観光客の誘客促進等を図ることで、輸送量の維持、確保に努めた。</p> <p>・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</p>	A	A	<p>・甌島の人口が減少傾向にあり、島民の航路利用減少が推測されることから、引き続き、航路事業者や薩摩川内市と連携し、島外からの交流人口の増加を図ることで、輸送量の維持に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>JR九州や旅行会社と連携したツアー造成等により島外からの観光客誘致と併せて昨年4月からの国境離島運賃割引の活用等で住民に対する利用促進を行っており、航路の収支を黒字にしたことは評価できる。</p> <p>今後も島民・観光客の利用促進策を継続することを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～三島～枕 崎航路対策協議会	三島村 鹿児島～三島航路	鹿児島～三島航路の 運航  ※平成28年10月よ り、枕崎航路を休止 し、鹿児島～三島間 を週3便(1泊2日運 航)から週4便(1泊2 日運航2回、日帰り運 航2回)へ増便	・増便等による利便性の向上により、地 域間交流や各種イベント等、村の施策 と連携した利用促進に取り込むことで、 利用者数の増加を図るとともに、公共 事業等の車両航送台数と貨物輸送量 の増加となった。  ・平成28年度まで本事業により実施し てきた離島住民割引は、平成29年4月 から有人国境離島法による運賃低廉 化事業に移行され、引き続き、住民等 の負担を軽減することで、利用促進を 図った。	A	A	・今後も、輸送量確保のため、地域間交流や 各種イベント等、村の施策と連携した、利用 促進に努める。 ※車両・貨物輸送については、黒島の片泊 港湾等の激甚災害復旧工事等による利用増 も大きく寄与していたと考えられ、復旧完了 後(次年度)の見通しは読めないが、引き続 き、輸送量の確保に努める。  ・本航路は、住民の利便性向上のため、平成 28年10月より、便数利便性改善支援制度を 活用して、週3便から週4便へ増便したところ であり、今後、運航日程・発着時刻に関する 住民の要望や利用動向を踏まえ、さらなる航 路の利用促進に努める。  ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段で ある航路の維持・確保のため、今後とも経費 削減に努め、安定的な航路運営に努める。	離島航路を維持していること自体評価でき る。 増便等による利便性の向上や昨年4月から の国境離島運賃割引の活用、増便等による 利便性の向上によって住民に対する利用促 進によって運航収入が増加していることは評 価できる。 日本ジオパークに認定されていることから、 行政等と連携した効果的な情報発信やツ ア一造成などに取り組み、島外からの観光 客誘致に取り組んでいただくことを期待しま す。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日  
九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
鹿児島～十島～名瀬航路対策協議会	十島村	鹿児島～十島～名瀬	<p>・十島村において、定住対策関連事業(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)に取り組むことにより、本航路における輸送量の確保及び航路収支の維持を図った。</p> <p>・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</p>	A	A	<p>・村が実施する定住促進対策関連事業等(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)の施策と連携し、利用促進に努める。</p> <p>・平成27年2月に策定した航路改善計画に基づき、代替船の建造を行うことにより、船体の老朽化に伴う経費増加の抑制に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>定住対策関連事業や増便による利便性の向上になどの住民に対する利用促進を行っていることは評価できる。</p> <p>本年4月には、新船が就航することとなり、今後、新船の活用方法を地域住民や関係者と協議を進め、航路収益に繋げていただくことを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
鹿児島～喜界～知名航路対策協議会	奄美海運(株)	鹿児島～喜界～知名	<ul style="list-style-type: none"> <li>奄美群島航路運賃軽減事業及び奄美群島交流需要喚起対策特別事業の運賃割引制度を活用した利用促進と地域のイベントや要望に応じた運航体制の確保により増収が図られた。</li> <li>燃料価格の動向による燃料油価格変動調整金の適用は無かった。</li> <li>運航の安全を確保しながら随時見直しや節減を行い航路収支の改善に努めた。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>航路の状況は、離島の少子高齢化と人口減により島民の輸送需要は減少していくことが推測されるが、奄美群島振興交付金による運賃割引制度を有効に活用し、離島住民や島外利用者の利用促進に努め、また、奄美地域の国立公園化と世界自然遺産登録に向けた取組みにより、航路との連携を図り関係機関と一体となって増収に努める。</li> <li>燃料価格の上昇に対応する燃料油価格変動調整金は状況に応じ適正に収受し、収支改善に努める。</li> <li>離島の公共事業や地域で生産される農水産物等の輸送、地域の要望やイベントと連携した運航体制を確保し、関係市町村と一体となって増収に努める。</li> <li>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・運営のため、地域と連携して収益の確保に努めるとともに、経費削減や見直しを図り、安全優先を第一に安定的な航路運営に努める。</li> </ul>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>奄美群島航路運賃軽減事業等の運賃割引制度を活用した利用促進や地域の要望に応じた運航体制の確保等により、旅客運賃収入の大幅な増加は評価できる。</p> <p>また、奄美群島は世界自然遺産登録が本年夏に見込まれていることから、行政等と連携した効果的な情報発信に取り組み、島外からの交流人口拡大に繋げていただくことを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日  
九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮之浦～口永良部・ 島間航路対策協議 会	屋久島町	宮之浦～口永良部～ 島間	<p>・燃料費に係る入札の毎月実施や、日頃の点検を確実に励行し修繕箇所を抑えることなどにより経費削減を図るとともに、平成27年5月の口永良部島新岳の噴火からの復旧・復興の一躍を担いながら、島民にとって必要不可欠な生活航路の安定的な航路運営に努めた。</p> <p>・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。</p>	A	A	<p>・使用船舶の老朽化による修繕費の増加や若者の島外転出や高齢化による島民人口の減少等で輸送量の確保が難しい状況であるが、口永良部島の復旧・復興に係る公共工事等による輸送量の増加も見込んでおり、これに加え、関係機関との連携のもと、交流人口の増加に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも、経費削減に努め、安定的な航路経営に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。昨年4月から実施されている国境離島運賃割引の活用などの住民に対する利用促進を行っていることは評価できる。また、当該航路は口永良部島の災害復興に向けて必要不可欠な住民等の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。</p>	
与路～古仁屋航路 対策協議会	瀬戸内町 与路～古仁屋航路	与路～古仁屋航路	<p>・イベント開催など、地域住民の要望に応えるとともに、必要に応じて運航ダイヤの見直しを行うなど、利用者と航路運営の課題を共有しながら、輸送サービスの向上に努めた。</p>	A	B	<p>・目標年間輸送量を確実に達成できるよう、与路島、請島でのイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努める。</p> <p>・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。与路島、請島でのイベント開催や農業振興など、具体的な利用促進策や経営改善策を、行政や事業者、住民と一体となって実施することも評価できる。今後も人口は減少傾向が予想される一方、当該航路は必要不可欠な住民の足であるため、地域で航路を維持していくという意識の醸成に取り組んで行くことを期待します。</p>	



地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
瀬相～古仁屋～生間航路対策協議会	瀬戸内町	瀬相～古仁屋～生間	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年12月末に発生した、新船の可動橋衝突事故の影響により、自動車等の輸送ができない代船による運航が長期化した。</li> <li>加計呂麻島民を対象とした離島住民割引を実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努めるとともに、可動橋施設完成後(平成30年2月完成予定)、新船を使用した通常運航に切り替え、安定的な航路運営に努める。</li> </ul>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>平成29年4月からの離島住民運賃割引の活用や運賃の設定変更等で住民や観光客に対する利便性の向上施策を進めていることは評価できる。</p> <p>奄美群島は世界自然遺産登録が本年夏に見込まれていることから、今後は、行政等と連携した効果的な情報発信や利用促進などの取り組みや、陸上交通との連携した面的に対応などを継続し、住民や旅行者の利便性向上に取り組むことを期待します。</p> <p>また、新船による事故の結果、離島航路確保維持計画の適切な実施が出来なかったため、事故の原因究明と再発防止に努めていただきたい。</p>	
天草～長島航路対策協議会	天長フェリー株式会社	天草～長島	<ul style="list-style-type: none"> <li>長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、輸送量の維持に努めた。特に、長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、目標の輸送量確保のため、航路利用の促進に努めた。</li> </ul>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、輸送量の維持に努める。</li> <li>特に、長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、目標の輸送量確保のため、航路の利用促進に努める。</li> <li>平成26年2月に策定した「航路改善計画」に基づく運航形態の見直しや省エネ効率化船の導入による経費削減に向け検討を行う。</li> <li>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。</li> </ul>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>地方自治体と連携した本航路の利用促進策により輸送量増となり運航収益が増加していることは評価できる。</p> <p>また、平成29年度に実施した調査事業の結果を踏まえ航路改善計画が策定されており、今後、航路改善計画に沿った航路改善が図られることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	竹崎～六連島航路	平成28年度に起点港及び運航時刻を変更し、島からの乗客の増加や、船員手当や宿泊費の削減等、一定の成果を得た。 船舶の小型化に向けた住民説明会を開催し、合意形成に努めた。	A	A	航路の利便性の向上、及び収支改善のため、住民要望を受けて、平成29年の年末から平成30年の年始にかけて、臨時増便を実施した。 引き続き、利便性の向上及び収支の改善の両面から、利用者とともに改善を図る。 新船就航に向け、各種イベント事業と連携して、利用者増の取組みを行う。船舶の小型化により燃料費、検査費用、修繕費等の削減に努め、安全に配慮しながら安定的な航路運営を行う。	離島航路を維持していること自体評価できる。 住民との合意形成を図りながら起点港及び運航時刻を変更し費用削減を行っていることは評価できる。 また、船舶修繕費についても積極的な船員による修繕によって減少しているため、今後も継続して費用削減に努めることを期待します。	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	蓋井島～吉見航路	テレビ等のマスコミの取材に積極的に協力し、観光客の誘致等に努めている。 7年に一度の山ノ神神事もあり、自治会や島民が中心となり島おこしを行っている。	A	A	新船就航に向け、各種イベント事業と連携して利用者増の取組みを行う。 新船投入により燃料費、修繕費等の削減に努め、安全に配慮しながら安定的な航路運営を行う。	離島航路を維持していること自体評価できる。 平成30年4月を目途に、航路改善計画の沿って新船就航をすすめているところ。新船導入に伴い、今後は、新船就航を契機として、地域住民と一体となって、島の魅力の情報発信に努めいただくことを期待します。	